

太田糸音ピアノリサイタル

2019年9月28日(土) 開場17:30/開演18:00 入場料:会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)

太田糸音のスタイル

「それぞれの作品から感じる、圧倒的な質量や熱量のような意志をより強く、より深く、曲の魔力に触れているような感覚から、演奏するたびに私自身の中での少しの変化を感じ、とても新鮮な喜びを感じています。」

そう語るのは2000年生まれの19才、ピアニスト太田糸音。

多彩な魅力が詰まった彼女のピアノは、毎回表情を変え、これからの行方が楽しみな若手演奏家の一人だ。

そんな彼女の演奏は女性らしさも男性らしさも兼ね揃えているというべきか、彼女のピアノを聴いていると単なるピアノの音ではなく、時折声楽的に、それもソプラノの女性のきらびやかな美声であったり、バリトンの男性ような重く低く腹の底に響くような声で聴こえてきたり、その引き出しは未知数だ。

その作品を照らすために必要な演技力、歌唱力を彼女自身が潜在的に持ち合わせているような、そんな大型の才能を感じられる。

そして、今回のプログラムの注目はなんとと言っても、ショパンのエチュードOp.10の全曲演奏!

全12曲からなるショパンのエチュードOp.10は技術的にも音楽的にも一曲一曲の難易度が非常に高いといわれており、一曲のみを取り上げて演奏されるのが一般的だ。

しかし、今回は12曲全てで1つの組曲が完成されるといったショパンの遺志を受け継ぐようなかたちで1度に全曲を演奏する選択をした。

こうしたチャレンジ精神は若さゆえではなく、彼女の「まっすぐさ」によるものだろう。

自分とまっすぐに向き合い、作品とまっすぐに向き合う、これが太田糸音のスタイルなのである。

そんな心の生の音がダイレクトに聴衆のもとへ届くような彼女の「まっすぐさ」に、今回も聴衆は感動させられることだろう。

(美竹清花さろん)

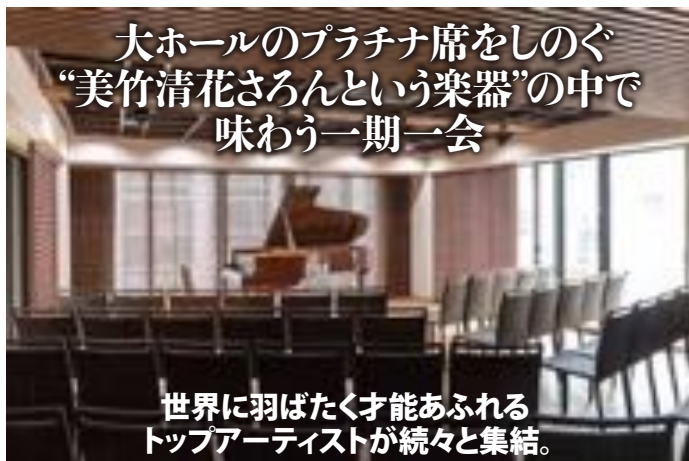


演奏に寄せて

さろんでの対話。そこには作品と奏者とお客さまの中に、まるで演奏している瞬間にのみ見られる花笑みに趣を感じるような、暖かい結びつきがありました。

バッハのイギリス組曲第2番と、ショパンの12の練習曲(作品10)を軸に置いたプログラムをお届け致します。

紅葉月、秋の美竹清花さろんにて、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。 (太田 糸音)



大ホールプラチナ席をしのぐ
“美竹清花さろんという楽器”の中で
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、
演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

Mitake
Sayaka
Salon



●お問い合わせ

株式会社ILA(美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日9:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

